

レジメン名称 (mFOLFOX6 + ベクティビックス (Pmab) q2w) 大腸癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

| 薬剤 | 投与量 | 投与日 |
|----------------|------------------------|-----------------------------------|
| | | 1 コース 2 週間 Day 1.....15(=Day1) |
| ベクティビックス | 6 mg/kg | ↓ |
| オキサリプラチン | 85 mg/m ² | ↓ |
| レボホリナート | 200 mg/m ² | ↓ |
| フルオロウラシル bolus | 400 mg/m ² | ↓ |
| フルオロウラシル 持続 | 2400 mg/m ² | ↓ 1 日目から 46 時間持続投与 |

レジメンオーダー以外に必要な処方

皮膚障害予防：ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3% (ヒルドイドソフト) 2本 1日数回

血清 Mg 測定 (3ヶ月に1回以上)

必要時 (制吐剤予防投与)：day2～：デキサメタゾン (デカドロン) 4～8mg 1×朝 2日間 内服

注意事項

オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与です。

ベクティビックスのルートにはフィルター付き輸液セット (ニプロフィルターセット STFPGP-20BRCG) 使用

ベクティビックス：インフュージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

ベクティビックス初回および8週以上あいた時：投与時に心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり

| 投与方法：1 日目～ | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 生食 100mL メインルートをプライミングし、止める | | |
| 2 | ボララミン注 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、ゆっくり、下の側管から投与 | | |
| 3 | グラニセトロン 3mg/100mL、デキサート (1.65 mg/0.5 mL) 4A 30分かけて点滴、下の側管から投与 | | |
| 4 | 生食 50 mL 100mL/時で、15分間、残破棄可、下の側管から投与 | | |
| 5 | <p>ベクティビックス _____ mg, 生食 100mL フィルター付き輸液セット使用</p> <p>60分かけて点滴、下の側管から投与 初回および8週以上あいた時、下記を実施</p> <p>心電図モニター</p> <p>投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後：BP、HR 測定</p> <p>投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、搔痒感、気分不良、嘔気)</p> | | |
| 6 | 生食 50 mL 100mL/時で、15分間、残破棄可、下の側管から投与 | | |
| 7 | <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"> <p>レボホリナート _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず5%ブドウ糖で)</p> <p>120分かけて点滴、下の側管から投与</p> <p>オキサリプラチンと同時に開始</p> </td> <td style="width:50%"> <p>オキサリプラチン _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず5%ブドウ糖で)</p> <p>120分かけて点滴、上の側管から投与</p> <p>レボホリナートと同時に開始</p> </td> </tr> </table> | <p>レボホリナート _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず5%ブドウ糖で)</p> <p>120分かけて点滴、下の側管から投与</p> <p>オキサリプラチンと同時に開始</p> | <p>オキサリプラチン _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず5%ブドウ糖で)</p> <p>120分かけて点滴、上の側管から投与</p> <p>レボホリナートと同時に開始</p> |
| <p>レボホリナート _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず5%ブドウ糖で)</p> <p>120分かけて点滴、下の側管から投与</p> <p>オキサリプラチンと同時に開始</p> | <p>オキサリプラチン _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず5%ブドウ糖で)</p> <p>120分かけて点滴、上の側管から投与</p> <p>レボホリナートと同時に開始</p> | | |
| 8 | フルオロウラシル _____ mg, 生食 40mL、全開で投与、上の側管から投与 | | |
| 9 | 1の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄 | | |
| 10 | <p>フルオロウラシル _____ mg, 生食、全量 210mL</p> <p>5 mL/時、46時間かけて ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与</p> | | |